

丸松建設 初優勝 ハンド九州一般



九州初制覇した丸松建設のメンバー＝12日、長崎県（提供）

ハンドボールの第60回九州一般選手権大会は11、12日の両日、長崎県の諫早市中央体育館で行われ、県勢対延長戦で30―30となり、7回ジャパンオープン（8月9〜12日、滋賀県）の出場権を得た。

▽1回戦 丸松建設40―21福岡シラーフス、興南BIC43―31

県勢対決の決勝は他チームや地元の子どもなど大勢のキャプリーが固唾（かたず）をのんで見守った。延長戦の末の7分スローコンテストで、丸松建設のGK通事章太が4連続で興南BICのシュートを足で止め、九州初制覇に導いた。

GK通事、好セーブ連発

ハイライト

開始すぐに連続得点でリードしたが、その後は流れを渡し逆転された。後半に最大6点差まで広がられたが、「1点1点地道に追い上げていった」（棚原義隆監督）。粘り強い守備から攻勢に転じた。高めの守備に切り替えミス誘い、CP神里昂大らが速攻で得点を重ね

守備から一転走り勝つ

る。3点差の残り3分、マンツーマン守備でボールを奪っては得点し、ラスト10秒で同点に追いついた。好セーブを連発したGK通事は「守備が頑張ってGKが止めやすいシチュエーションにしてくれた」と語った。

コザ高OBの選手らでつくるチームは創部3年目。丸松建設のほか、中部地区の企業が協賛するなど地域ぐるみで活動を支援している。期待を背に、今年4月の県一般選手権で興南BICを初撃破。琉球コランの元選手らが所属する強豪を九州でも再び退け、悲願の初制覇を達成した。全国へ向け棚原監督は「上位を目指して走り勝つ」と意欲を燃やした。（古川峻）

丸松建設	34	4741	延169
興南BIC	33	3C14	長1411
丸松建設	32	26	
興南BIC	37	27	
丸松建設	44	25	
興南BIC	37	27	
丸松建設	44	25	
丸松建設	44	25	
丸松建設	44	25	
丸松建設	44	25	